

第 5 回
市民と市長のタウンミーティング
報 告 書

○期 日 平成 18 年 7 月 2 日

○会 場 緑町コミュニティセンター

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。この会は、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が会の企画・運営方法について協議し、協働して開催するもので、原則として議会月（3月、6月、9月、12月）を除く年8回開催し、2年間で市内のコミュニティセンターを一巡する予定です。

このたび、緑町コミュニティセンターで第5回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告します。

概 要

1. 日 時 平成18年7月2日(日)
午後1時30分～4時20分
2. 場 所 緑町コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市・緑町コミュニティ協議会
4. 参加者数 99人
5. 主催側出席者 市長 邑上守正
緑町コミュニティ協議会委員長 平田昭虎
企画政策室長 南條和行
防災安全部長 堀井建次
環境生活部長 長澤博暁
福祉保健部長 檜山啓示
子ども家庭部長 筒井敏晴
都市整備部長 井上良一
教 育 部 長 金子俊治
6. 司 会 緑町コミュニティ協議会副委員長 平馬信一
企画政策室市民活動センター所長 笹井 肇
7. 内 容
第1部 「緑町のまちづくり」をテーマとした意見交換を行った。
第2部 参加者にカードを配り、市政全般に関する意見等を記入していただいた。
そのカードを、第四期長期計画の施策の体系の分野(①健康・福祉、②子ども・教育、③緑・環境・市民生活、④都市基盤、⑤行・財政)に分類して模造紙に貼り出し、分野ごとに意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「緑町のまちづくり」をテーマとした意見交換(要旨)	3
・ごみ・環境問題について.....	3
・高齢者問題について.....	4
・安心・安全まちづくりについて.....	5
・私たちの緑町コミセン、その他市政全般について.....	7
(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨).....	10
①健康・福祉.....	10
・市長の発言.....	10
・シルバー人材センターについて.....	10
・視覚障害者の就労支援について.....	11
・福祉の窓口について.....	11
②子ども・教育.....	12
・市長の発言.....	12
・セカンドスクールについて.....	13
・中学校の施設開放について.....	13
③緑・環境・市民生活.....	14
・市長の発言.....	14
・地球環境問題の啓発について.....	15
・中央通りの桜並木について.....	15
・就労支援について.....	15
・緑町コミセンについて.....	16
・文化事業団の催し受付について.....	16
④都市基盤.....	17
・市長の発言.....	17
⑤行・財政.....	17
・市長の発言.....	17
・防災・安全センターについて.....	18
(4)閉会のあいさつ.....	18

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針.....	19
①健康・福祉.....	19
②子ども・教育.....	22
③緑・環境・市民生活.....	25
④都市基盤.....	32
⑤行・財政.....	35

— 付属資料 —

第5回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんにちは。私が市長になりまして、約8カ月が経過いたしました。市民が主役の市政を目指そうということで、この間、いろいろと声を出してまいりましたが、やはりその原点は市民の皆さんと一緒にいろいろな意見を交換することではないかと思えます。そこで、同じフロアで、同じ目線で、同じ話題をいろいろ議論しようではないかと、「市民と市長のタウンミーティング」を提案させていただきました。これは市役所が一方的に行うものではなくて、地域のコミュニティ協議会の方にも企画運営をお願いし、携わっていただきながら、一緒に進めていこうという会でございます。



今回は第5回になりますが、緑町コミセンの協議会の皆さん、誠にありがとうございました。私は今、タウンミーティングをやったよかったですと思っています。時間は2時間半しかないのですが、意見をたくさんいただきます。残念ながら、そのすべてにこの時間内にお答えすることはできませんので、それを市役所に持ち帰りまして、市の職員と共に、回答を考えていきます。そして、毎回タウンミーティング報告書というものを作っているのですが、私はこれを市民の皆さんの意見が詰まった「宝物」だと思い、常に身近に置いてございます。報告書はようやく第3回までできましたけれども、これから4回、今日の5回という形で、どんどん皆さんの声を集積していきたいと思えます。

これは単に皆さんの意見を聞きっぱなしにせず、必ず返していくということです。意見をいただき、その結果をお戻しして、それをもとにまた議論をしようという、キャッチボールをしていきたいと考えております。

これは単に皆さんの意見を聞きっぱなしにせず、必ず返していくということです。意見をいただき、その結果をお戻しして、それをもとにまた議論をしようという、キャッチボールをしていきたいと考えております。

私は、皆様と一緒に、皆様の意見を聞きながら、市民が主役の市政を目指して邁進してまいります。2時間半でございますが、今日もたくさん意見をいただきたいと思っております。本日はご参加いただきまして、ありがとうございます。

【緑町コミュニティ協議会委員長】

皆さん、こんにちは。緑町コミュニティ協議会委員長の平田でございます。今日は邑上市長がおいでになりまして、皆さんとともにぎっくばらんな意見交換を行う、タウンミーティングが催されます。

緑町コミュニティセンターは今年20周年になりますけれども、この間、皆様のご協力でいろいろな行事



をやってきました。緑町としては「よい町をつくろう、緑町」というキャッチフレーズをつくり、皆様に訴えかけております。今日は、いろいろな問題があると思いますが、緑町が本当によい町になるように、ご意見やご要望をたくさん出していただきたいと思います。

それで、まず会を和やかにしようと、歌をうたうことにしました。「幸せなら手をたたこう」をぜひ皆さんと一緒に歌いたと思います。今日は伴奏がないのですが、大きな声で歌ってください。

〈全員で合唱〉

ありがとうございます。みんなで幸せになるように、ひとつ手をたたいてお願いしたいと思います。



(2) 第1部「緑町のまちづくり」をテーマとした意見交換(要旨)

1. ごみ・環境問題について

【ご意見】

緑町にはクリーンセンターがあるが、稼働してからもう20年が過ぎており、いずれは建替えをしなければいけないと言われている。今後の建替えをどのような手順で行うのか。行政とパートナーシップを引き続き築き上げていきたい、協力したいと思っている周辺住民も多いので、ぜひ意見を取り入れていただきたい。

【ご意見】

集合住宅では不法投棄が大変多く困っている。集合住宅ごとに責任を持つよういわれているが、外部からの人が置いていくこともかなりある。住民の側も考えなければいけないが、市にも何か知恵をお願いしたい。特に、緑町の都営アパートの場合は、隣に中央公園があり、そこでバーベキューをする人が、多いときは400~500人くらい来る。都の管理事務所でも指導しているが、暗くなると、ごみを置いていくということがある。何かいい方法はないか。

【市長】

クリーンセンターは煙突も目立ち、この地域のシンボリックなものになっていますが、オープンから22年目を迎えています。クリーンセンターの設備は、日々点検しながら、維持していますが、10年以内ぐらいにはきちんとした設備の更新等を考えていかなければいけないという段階になっています。いきなり10年たったら考えるのではなく、今からどういうやり方でそれを建替えるのか、議論していかなければいけないと考えています。

クリーンセンターができたときには、市民参加方式の原点ともいえるやり方が採られましたので、今回も市民の皆様に参加をいただきながら、一緒に議論していきたいと思っております。

当時の資料を見ますと、クリーンセンターは建替えを前提にして、施設を配置したといわれています。現施設を動かしながら、現在の施設の東側に建替えをしていくことになりましたが、その場所には、駐車場やバラ園、あるいは野球場の管理棟等もあるといった状況ですので、どのようにしていくのかについて、クリーンセンター運営協議会をはじめとする市民の皆さんに呼びかけて、スタートしていきたいと思っております。

ごみの不法投棄につきまして、ごみの集積場は、ごみ捨て場ではないにもかかわらず、よからぬ人が外から持ってきたごみを捨てるような行為をしている。あるいは、お住まいの方でもマナーを破って、ごみを置かれてしまうということで、非常に汚れが目立ったりしています。マナーを守っていただくということが基本ですので、マナーアップキャンペーンという形で大いに啓発をしていく必要があります。それから、地域の皆さんにも目配りをしていただかないといけないと思っております。「壊れ窓理論」というのがあります。何か壊れたらすぐにそれを修理していくということが、その後のいろんな環境美化、安全につながっていくという考え方です。ニューヨークでは落書きを消したことによって、安全な町に生まれ変わったという例があります。ごみが置かれていてもそのままにしないで、それをすぐに撤去していくことも必要であると思っております。行政か



地域の皆さんのどちらがやるというのではなくて、一緒に協力をしていかないといけません。不法投棄の問題は、行政だけの問題でもないですし、あるいは、地域だけの問題でもありません。お互いに何か工夫をしていかなければならない大きな課題であると認識しております。

2. 高齢者問題について

【ご意見】

心臓にステントを入れており、いつ心筋梗塞になるかわからないので、高齢者福祉課に緊急通報装置の貸し出しの相談に行ったが、「寝たきりの人にしか貸せない」と言われた。企業の有料のサービスを紹介されたが、何千円もするので手が出ない。それから、孤独死を防止するため、水道が2、3日止まったら市の職員が見に行くような設備ができないか。

【ご意見】

介護保険の自己負担は、制度上は1割負担のところ、武蔵野市は7%の助成があり、すごく助かっていたが、6月30日で全部撤廃された。もう少し時間をかけて考えて欲しかった。せめて段階的に、2年なり3年をかけて、この7%助成の撤廃をしていただきたかった。

【ご意見】

障害者福祉課から初乗り料金のタクシー券をもらっている。障害者手帳を持っているので、メーター分も1割引になるが、通院のための往復で1,500円ほど自己負担がかかる。杉並では、100円の補助券を出していると聞いている。武蔵野市でも補助券をいただけないか。

【ご意見】

自転車事故に遭うのはほとんど老人なので、老人事故の防止策を提案したい。自転車が歩行者の後ろから来るから危ないので、大きい道路で両側に歩道があるところでは、歩道を走る自転車は一方通行に指定し、自転車と歩行者が対面交通になるようにしたらどうか。

【市長】

緊急通報装置の貸し出しについては、65歳以上の一人暮らし、または、高齢者のみの世帯の方で、心臓などの慢性疾患のため健康上不安のある方を対象にしているのですが、もう一度、高齢者福祉課にご確認いただきたいと思います。

高齢者の孤独死の問題。特に、集合住宅等では非常に心配事でございます。市としましても、新聞配達員の方と協定を結んでいまして、新聞がたまっているときには、通報していただくようにしています。それから、給食サービスのお昼のお弁当配達も、当然、見守りも兼ねています。1つの方法だけではなくて、いろんな方法を積み重ねて、一人暮らしの方でも安心してお過ごしいけるような形になったらいいのではないかと気がしています。

2番目の問題は、介護保険の利用者補助です。介護保険の自己負担は基本的には1割負担ですが、激変緩和措置として「訪問介護」「通所介護」「通所リハビリテーション」を利用する場合、自己負担10%のうち7%の助成を実施しました。この助成を5年間やらせていただきましたが、ある一定の利用も得られたのではないかとということで、今回の制度改正を契機に、いったん廃止しました。この7月からは新たに低所得の方だけ5%の補助という形で制度をスタートしたところですので、当面、見守っていただきたいと思います。今後、いろんな課題も出てくるでしょうから、それも含めてトータルに、これからどういうやり方がふさわしいのかを含めて議論をして

いきたいと思います。

3番目に、タクシー券が十分でないというお話がありました。主に病院への移動にお使いのようですが、タクシーだけでなく、レモンキャブ（*1）の利用もご検討いただければと思います。レモンキャブは、年会費1,000円で、1回30分につき800円、往復で1,600円になります。

4つ目のご質問の自転車の問題については、非常に悩んでいます。高齢者だけではなくて、一般の歩行者も危険にさらされています。自転車専用道をつくるほどの余裕がない中でどうやって共存していくのかということについては、自転車を運転する方がマナーを守らないとだめですよ。どうやってマナーアップが図れるのかということも、今年度、取り組むことになっています。できれば乱暴運転をしがちな若い世代にも、その検討の中に入れてもらって、武蔵野ルー儿的なものまでできたらいいと思います。

【ご意見】

孤独死対策は、新聞がたまってからでは遅い。集合住宅が多い地域なので、行政が近所の方との仲立ちをし、対面で見守りをしてもらい、一定の手当を支払ってはどうか。また、ある一定の高齢者宅には、24時間、部屋に動きがないと警報が鳴る装置を設置する必要があるのではないかな。



【市長】

市の職員が1軒、1軒回るといのは不可能ですが、どういうやり方が可能なのか、地域社会の皆さん、あるいは自治会の皆さんといろいろ研究していく必要があります。また、先日、NTTに行きまして、ある一定時間、部屋の中で居住者の動きがないと、警報がほかのところにつながっていくという新たな取り組みを見させていただきました。このような緊急警報の手段も研究をしながら、市としてどういう形で支援が可能なのかを考えてまいります。

3. 安心・安全まちづくりについて

【ご意見】

緑町3丁目は非常に環境に恵まれた場所で、公園や広場があって緑が多いが、反面、街灯が枝の中に隠れて、局部的にしか見えないというようなところがあり、安心して通れない。道路の照明関係の問題を気にしている住民が非常に多いということを承知していただき、対策を早急に考えていただきたい。

【ご意見】

最近、野良猫が多くて、住民からの苦情が出てきたので、猫の好きな方たちと話をした。殺すわけにはいけないので、増やさないようにしようということになり、いろいろカンパしていただいて、不妊手術をしている。他市では、不妊手術に対する補助を行っているが、武蔵野市でも以前あったと聞いた。野良猫は大変多いので、この不妊手術の補助をお願いできないか。

（*1）レモンキャブ…バスやタクシーなどの公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者の外出を支援するための移送サービス事業。福祉公社に登録された地域の運行協力員が福祉型軽自動車を運転し、ドア・ツー・ドアのサービスを提供。

【ご意見】

緑町コミセンの窓口担当をしているが、コミセン周辺の歩道が真っ暗で、図書室で勉強していた女の子を帰すとき、とても心配である。コミセン前のN T T武蔵野研究開発センターの土手を横河電機グラウンドの隣のような明るい歩道にしてもらえないか、市からN T Tにお願いしてほしい。

千川上水の管理が市に委譲されたというお話を聞いたが、現在、草ぼうぼうで大変な状態なので、市民の憩いの場にしていくための具体的な対応をお願いしたい。

【ご意見】

緑町1丁目では、約3カ月前から、町内会で会員に呼びかけて、夜の7時から8時まで、防犯のために、路地を回っている。何も持たずに4、5人でぞろぞろ歩くのは、かえって防犯にならないのではないかということで、コミセンから拡声器を借り、拍子木もどこかで借りて、「緑町1丁目の町内会の防犯パトロールです」と言いながら回っているが、パトロールに必要な道具を市で貸していただけませんか。

【ご意見】

前の意見の続きだが、緑町1丁目のえのき公園に、リヤカーなどの防災用具を入れる小屋を建ててほしい。

【ご意見】

緑町の都営住宅は、建替え中で、最終的には中央公園寄りの1号棟から8号棟までが空き地になると聞いている。東京都はその空き地を民間業者には売らないといっているが、市はどういう情報を得ているか。

【ご意見】

港区のエレベーター事故に関して。港区では、年間360万円ぐらいの費用でメーカーがメンテナンスをしていたが、入札でできるだけ安くするという方針のもとで、3分の1の120万円で、あるメンテナンス会社にメンテナンスを委託したために人身事故が起こったのだと思う。エレベーターはメーカーがノウハウを持っているので、安全を第一に考え、武蔵野市では、市施設のエレベーターをメーカーにメンテナンスしてもらえよう、しっかりした予算を組んでほしい。

【市長】

この周辺が暗いということですが、実は木がいっぱい茂っていて緑豊かなんですね。夏場は木陰ができて、すごく歩きやすい空間ですが、夜になると非常に暗がりになってしまうということがあります。照明に覆いかぶされた木、枝については順次、安全を考えた剪定をしていきたいと思えます。もちろん緑量を確保した上でということになりますが、安全確保を優先してまいります。

野良猫については、最近では地域猫というんですが、市でも現在、ニャンポジウムを開いて研究を始めています。不妊手術費用助成については、担当の部長からお答えします。

【環境生活部長】

以前は飼い犬、飼い猫の不妊治療費用の助成をしていましたが、件数が非常に少ないということで、廃止させていただきました。ニャンポジウムは、人と猫の共存を目指して、皆さんから意見を募集し、猫について考えるワークショップですが、市報に載せて3回開催いたしました。ど

うやって猫と共存できるかという中で、当然、不妊の手術の話も出てくるわけですが、その手術費用に直接補助するという形ではなくて、地域での団体の活動に対して何か一定の方向性が考えられるかどうか研究しているところです。

【市長】

NTT武蔵野研究開発センター側に歩道を設置してほしいとのことですが、NTTに設置していただければ、いいですね。横河電機グラウンドのわきの道は、横河電機さんにご提供いただいているんですが非常によい道になりました。大規模敷地を所有している企業さんに呼びかけをして歩きやすい道、歩いて楽しい道をつくっていききたいと思います。コミセン前は、建物も迫っているので可能なのかわかりませんが、NTTに要望してまいりたいと考えております。

千川上水については、東京都から委譲を受けましたので、これから市が管理をしていきます。暫定予算の経過もありまして、遅れぎみになっていますが、これから具体的にどういう管理、整備、あるいは改善が必要なのか検討して、いい水辺空間をつくっていききたいと思います。

パトロールを実施いただきましてありがとうございます。やはり地域に皆さんが出ていただくことが、防犯の第一でありますので、必要なことはご要望いただいて、市としてどういう支援が可能なのかをこれから研究していききたいと思います。

防災公園の提案もいただきましたが、市でも非常時の防災公園の整備を進めていますので、地域のバランスも考えながら、研究していきます。

都営の建替えでできる空き地がどうなるかということですが、具体的な情報はまだありません。平成22年ごろ建替えが完成し、そのスペースができるということですので、都とも調整をしていきます。皆さんも「こういう利用方法がある」ということがあれば、ご提案ください。

エレベーターの件ですが、確かに安かろう、悪かろうではなくて、きちんとした保守管理をしていくことが大前提ですので、コストで決めるのではなくて、きちんとした仕様書に基づくメンテナンスの委託をしていくという考えですので、ご安心いただきたいと思います。



4. 私たちの緑町コミセン、その他市政全般について

【ご意見】

緑町コミセンは地域の外れにあるということと、小規模コミセンということで、非常に使い勝手が悪い。テニスコートを少しつぶして、もう少し広げることにはできないか。また、クリーンセンターの建替えの際には、クリーンセンターの余熱を使って、温泉をつけたユニークなコミセンをつくってほしい。

【ご意見】

学童クラブで障害児のお子さんにつく補助の先生は、障害児のお子さんにはではなく、指導員の先生につくと聞いた。障害児のお子さんにとって本当に助けになっているのか。

大野田学童クラブに入っているが、そこでむらさき学級（*2）に通っているお子さんがいじ

めに遭っている。学童保育での障害児のお子さんに対する保育理念を伺いたい。

【ご意見】

昨年の消費生活展の報告書の中に生活実態調査が取り上げられているが、武蔵野市の特色的なこととして、15%の方が住宅対策を熱望されている。将来の武蔵野市を考えるにあたっては、若年齢層の世帯の方たちが住めるような住宅政策を施策の1つに取り上げていただきたい。

【ご意見】

市役所の前の道路では、朝6時ごろから、貨物、タクシー、ライトバンなどの駐車が多く、アイドリングがすごい。

また、タウンミーティングは、大変結構だと思う。加えて、今までやっていたような、はがきでのアンケート調査も続けてほしい。タウンミーティングに出られない人や、大勢の方の前では発言しづらいという人もいるので、タウンミーティングとアンケートという2つの方法をお願いしたい。

【ご意見】

中学校給食の実現を早くお願いしたい。小学5年の子どもがいるので、子どもが中学校に入学する平成20年4月に実現しているといいと思う。

【ご意見】

緑町コミセンにはエレベーターがないので、高齢者と身障者が利用しにくい。エレベーターを設置するなど対策を考えてほしい。また、種々の行事、イベントを行うとき、駐車場がないために、物の搬入、搬出が非常に不便なので、改善をお願いしたい。

【市長】

タウンミーティングをやりますと、必ずコミセンを改築してほしいというご意見をいただきます。コミセンは、皆さんにご利用いただいているからこそ、いろんな課題が出ているのではないかと思います。すぐに「はい、わかりました」と言うわけにはいきません。ただ、どういう形にしていきたいのかということは、各コミセンでこれからも考えていただきたいと思います。順番からしますと、やはり老朽化してきたコミセンをどうするかという問題があります。それから、多くの方が平等に利用いただくために、施設のバリアフリー化は必須だと思います。エレベーターがないコミセンが幾つもありますので、同時期にはなかなか難しいんですが、きちんと計画を立てて進めないといけないと思います。コミセン自体の大きな改築の話につきましては、できましたら長期計画の調整計画の中で考え方をまとめ、その上で、各コミセンをどうしていくのかということルール化していきたいと考えています。この緑町コミセンについても、テニスコートをつぶしてまでというのはできないかもしれませんが、その中で考えていきます。

学童クラブにつきましては、障害児であろうとも、受け入れをしていくというのは原則であります。ただ、集団生活ということになりますので、障害児も一緒に集団生活に対応できるというのが1つの目安かと思います。指導員の補充についても、基本的には専従で障害者の方の面倒を見るという補充ではなくて、トータルとして指導員の方が少し大変になってくることから、その

(※2) むらさき学級…知的障害のある児童を対象として、必要な指導・訓練・教育を行っている。大野田小学校に設置されている。

指導員を補助する形で補充の指導員を設けているということです。

若年層の住宅対策はなかなか厳しいですね。武蔵野市はご存じのとおり、住みたいまちとして人気があります。住みたいまちということは、皆さんが来られますので、経済原則から言いますと家賃も上がります。それでは、どうやってそれを行政が支援できるのか。「皆さんもっと住んでください。補助を出しますよ。」という形がいいのかどうか。これはなかなか難しい問題であります。しかし、現状から見ますと、若い世代、特に子育て世代が住みにくいというのは事実です。私は、もう子供が中学生、高校生になっていますが、若い世代の家庭がもう少し広い家が欲しいということになると、市内ではなかなか難しく、周辺の地域に引っ越されるというケースも多々ありますので、住宅政策としてどうするのか、調整計画の中でも大きな課題として取り上げていきたいと思っております。



市役所前の早朝の駐車については、ご近所の方には迷惑ですので、調査してみたいと思っております。

また、このタウンミーティングに限らず、いろんな場面で市民の皆さんから意見を聞くということで、ハガキによるアンケート調査も8月末の実施に向けて、準備をしていますので、ぜひそれにもご回答くださるようお願いいたします。

中学校給食については、6月中に公募の委員を募集しまして、これから具体的な検討をスタートしてまいります。できましたら、今年度中に何かの方法を試行して、子供たちにも意見を聞きたいと思っております。それが詰まれば、来年度以降、具体的なスタートをしていきたいと考えていますが、単に該当家庭だけ、あるいは中学生だけの問題ではなくて、やはり全市民の皆様のご意見をいただきたいと思っております。

<確認結果：市役所前の駐車状況について>

7月17日から21日の朝6時と8時に、駐車状況を調査したところ、市役所側・クリーンセンター側を含めると、毎日数台の駐車がありました。天候の状況からか、特にアイドリングのひどい車は確認できませんでしたが、今後も状況把握に努め、必要に応じて注意喚起してまいります。

(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨)

1. 健康・福祉

【市長】

高齢者の孤独死や一人暮らしのご不安については、大きな課題であると思います。行政として、どんな支援が可能なのか。若い世代も一人暮らしが増えていますので、いかに安心して生活できるか、見守りのネットワークについても、新しい情報システムも開発され、地域にNTT武蔵野研究開発センターもありますので、情報をもらいながら、市としてどうしたらいいのか考えていきます。

就労支援について、元気な方はもちろん、60歳を超えてもいろんな場で仕事をしていただきたいと思えますし、シルバー人材センターもありますから、そこにも登録して活動いただけたらと思います。シルバー人材センターにも、市で様々な事業をこれからも提供していきたいと考えています。



介護保険について、訪問看護の充実、利用者負担を軽減してほしい、保険料を上げないでほしいということですが、今回の制度改正に伴い、7%補助については見直しをしました。保険料も見直し、10段階にしました。新制度を運用する中で、いろいろな課題が出てくると思いますので、ご意見をいただきまして、改善していきたいと考えています。

健康診断については、この地域では、クリーンセンター検診をやっています。誕生日の関係で、この検診と老人検診が重なってしまうということですが、クリーンセンターのほうは循環器系の検診を追加しているということなので、通常の検診よりもその科目が増えているんです。詳しくは、保健推進課にお問い合わせいただければと思います。

現在、医療制度や介護保険の改革もあり、過渡期で厳しい状況にあります。市として何ができるのかを前向きに考えていきます。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については19ページをご覧ください。)

1. シルバー人材センターについて

【発言意見】

府中市のマンションの管理組合は、高木の剪定、植栽をシルバー人材センターに発注している。武蔵野のシルバー人材センターに植木の剪定を頼んだことがあるが、高木を切らないし、消毒しないし、切りくずも片づけない。武蔵野市はこれだけマンションがあるわけで、大きなマーケットになっていくと思う。放置自転車対策について、西東京市はシルバー人材センターに委託していると聞いた。武蔵野市はどういう契約になっているのか知らないが、他市の良い例を参考にしてほしい。

【市長】

自転車整理や駐輪場管理も一部、シルバー人材センターにお願いしておりますが、シルバー人材センターがぜひ力をつけていただいて、何でも取り組めるんだという体制をいただければ、市

としてもいろんな紹介もしますし、市の事業もお願いできると思います。

2. 視覚障害者の就労支援について

【発言意見】

専門家や視覚障害者で就労を希望する人にも参加してもらい、視覚障害者に合った仕事の開発をしていただきたい。

自治体や民間企業での視覚障害者の雇用が進んでいないので、市役所の採用試験でも点字で受けられるようにしてほしい。点字試験は25年前から要求してきたが、当時は視覚障害者の仕事は分野が限られていたが、パソコンが発達してきて、手書きのものはだめだが、書類の文字をスキャンニングして、音声を発生できるという機械ができた。視覚障害者が市役所で働くことというのは、難しくなっていると思う。

障害者雇用促進法が改正されて、在宅ワークや在宅雇用も含めて、障害者に仕事を出しているものについては雇用と見なすという弾力的な運用になってきたが、視覚障害者の就労率は23.9%である。ニートが問題になっているが、視覚障害者はほとんどがニート状態だった。障害者自立支援法で、いよいよ経済的に自立しなければならない。市議会で、ニートに関する質問について、市長は働くスタイルはいろいろあると言っていたが、柔軟に考えていただきたい。

【市長】

障害者就労支援センターの開設・運営を含めて取り組みを進めていきますが、視覚障害者の方も活躍の場が市役所の行事でもあるだろうというご提案をいただいていますので、研究を進めていきます。

3. 福祉の窓口について

【発言意見】

介護保険のことで、ヘルパーに、市から郵送された書類を見てもらったら、市役所に相談しなさいと言われた。市役所に相談したら、「年金は幾らですか。預金が350万円以上ありますか。だれか、仕送りしてくれる人がいますか」とか聞かれた。私は老後が心配なので、200万円ぐらいかけてお墓を買ったが、「それはまあしょうがないでしょう」と言われた。預金しているお金があるなら残高証明をもらってきなさいと言われ、私は福祉をいただいているわけではないのに、何で預金残高を調べて、持っていかなければいけないのだろうと思ったんですが、郵便局や銀行に、手数料を払って残高証明をもらいに行った。それで、市役所に持っていったら、今度は別の職員が「これは要らないんですよ」と言われた。自分は、月12万円の収入で最低の生活である。それで、介護保険利用料の助成制度が廃止され、自己負担が10%になるなんて、納得がいかない。

【市長】

今、制度改革の中で厳しいですね。補助制度についても、国のいろんな補助基準に準じて運用していて、貯蓄額の証明をしていただくのも、国に準じた形でやっているんですが、丁寧な説明がなかったかもしれませんので、ご不明な点はまた説明させていただきます。どうぞご理解ください。

2. 子ども・教育

【市長】

0123子育て支援施設（*3）は、吉祥寺東町（「0123 吉祥寺」）と八幡町（「0123 はらっぱ」）に2カ所ありまして、子育て層には人気があります。他区市からの利用については、昨年度実績で、吉祥寺は48%、はらっぱは37%となっております。他区市の方が利用してはいけない施設ではありませんが、市民が利用しやすいような形に持っていければと思いますし、この施設が2カ所とも市境の近いところにあることから、全市的には利用がしづらいので、今後どうやって地域バランスを考えていくのか、不足している地域に増やしていくのか等も含めて、調整計画等でも議論をしていきます。

旧中央図書館は、さびついて、今にも壊れそうな感じもするので、あのまま利用するのは難しいと思います。今は収蔵庫として利用していますが、市の公共用地ですので、どういう利用法が可能なのか、これから議論をしたいと思います。



地域のクラブや団体に所属していない、友達もいないという**孤立した子供**がいるという意見ですが、行政としてどうするか難しいんですが、土曜学校（*4）だとか地域の行事に出てきませんかというPRをしていくのが一つのやり方かもしれません。教育委員会等にも考えてもらえればと思います。

保育園のニーズとしては、特に0～1歳の低年齢児の入所が難しいという面もあります。一方で、企業で育児休暇制度も進んでいて、待機児数が安定化してきたのか、少し減ってきたのかなということもあります。市がすべて保育園をつくるということではなくて、民間の施設との連携も考えていますが、横河電機が中町で保育所をつくる計画を進めています。民間の保育園等も支援しながら、保育環境の充実を考えていきます。

セカンドスクール（*5）の実施から10年が過ぎ、教育委員会で課題を整理しているところです。私も今年、セカンドスクールに行って、評価もし、課題も整理したいと思います。

中学校については、フリーの学校開放ではなくて、地域のいろんな団体に貸し出しをしています。例えば、地域の少年野球チームにも中学校の校庭を開放しています。小学校の校庭ですと、地域子ども館「あそべえ」（*6）という形で、その学区にお住まいの小学生なら誰でも遊びに行

（*3）0123子育て支援施設…0歳から3歳までの乳幼児と保護者を対象とした自由来所施設。吉祥寺東町に「0123 吉祥寺」、八幡町に「0123 はらっぱ」がある。

（*4）土曜学校…小中学生を対象に、学校休業日の土曜日を利用して、学校ではできないさまざまな体験活動を提供する生涯学習プログラム。

（*5）セカンドスクール…武蔵野市立の小学5年生と中学1年生が、自然豊かな農山漁村に長期滞在して、普段の学校生活ではなかなかできない体験学習を、授業の一部として行うもの。

（*6）地域子ども館「あそべえ」…小学校施設等を利用した、子どもたちが自由に集い、遊び、交流できる安全な居場所、自由来所型の遊び場。市立小学校12校で、教室開放、校庭開放、図書室開放を実施している。

くことができます。

中学校の学区制を廃止して自由選択性にといいますが、他の自治体では動きもありますが、学区制をなくすことの効果、課題を整理しなければならないと思います。各学校が、いい学校づくりを目指して競い合うということは必要かもしれませんが、教育委員会に課題として投げかけて、検討していきたいという気もします。

中学校給食は、本格的な検討をこれから進めていきますので、注目していただいて、皆さんもこういう中学給食を実現すべしという意見をいただきたいと思います。

学童クラブについては、各クラブで議論を出していただいたうえで、市としても取り組みを進めていきたいと思います。

青少年施策で、市が提供している土曜学校は人気があるんです。ただ、地域でいろんな取り組みもあるので、スポーツ系のクラブにも参加いただくなど、学区を越えた青少年の活動を支援していきたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については22ページをご覧ください。)

1. セカンドスクールについて

【発言意見】

セカンドスクールについて、もう少し長期滞在して、自分でご飯を炊くということがどのくらい大事なことなのか体験させてほしい。ジャンボリーをやっても、先生方が野外活動のやり方を知らない。また、体育館にある野外活動センターは三多摩でも一番の資料を備えてあるので、ぜひ利用してほしい。

【市長】

セカンドスクールについてはこれからも議論をしてまいります。

2. 中学校の施設開放について

【発言意見】

小学校はあそべえがあって、校庭開放をしているが、中学校ではあそべえや平日の校庭開放をやっていない。水曜日の午後は、四中は職員会議があり、部活がないので、子どもが1時半ぐらいに帰ってくる。その後、小学校のあそべえに遊びに行くのだが、小学校では中学生には来てほしくないと館長から伝わってきた。中学校の校庭を開放したらどうか。

【市長】

本市はそういうオープンスペースが足りないという中で、小学校ではあそべえを実施しています。中学校では、学校教育に支障の範囲で施設開放を行っていますが、校庭開放については各中学校の判断になると思います。

【教育部長】

中学校については部活が活発なので、ほとんどの時間が部活にとられているんです。水曜日は部活がないので、有効活用については学校に聞いてみたいと思います。

3. 緑・環境・市民生活

【市長】

環境問題について、市の車はなるべく利用を減らしたほうがいいのではないかと。市長車はハイブリッド車ですが、私はできる限り歩いており、さらに利用を抑えていく必要があると考えています。

水道に関して、7割が地下水の武蔵野の水を守りたいというご意見につきましては、市民の皆さんに、この地下水ができるプロセスを理解いただいて、雨水を大切にされた循環型の都市を武蔵野市だけではなくて、広域で考えていくべきであると思います。

千川上水は、市に管理委譲されましたので、管理の方法や整備の形態を、皆さんと一緒に議論をしながら、進めていきたいと思っています。管理も市民参加型の管理というご意見をいただいていますので、言ったからには、責任をもって一緒にやっていただきたいと思っています。

市全体の緑被率は24%ですが、この地域は非常に緑豊かで平均を上回っています、逆に、**歩道が暗い場所**もあるので、照明器具を隠さない剪定の仕方、あるいはフットライトなど、歩行する空間に合わせて照明をつけるなど、工夫をしていきたいと考えています。

公園等に障害児や高齢者をスタッフとする**カフェ**をという提案について、実現可能かも含めて、赤字にならないような運営の方法を研究していきたいと思っています。

農産物について、今朝、桜堤団地で、コンポスト（*7）でできた堆肥を使った野菜の朝市がありまして、見事な野菜ばかりでした。生ごみを堆肥化して、地元の農家に提供する。農家はそれをもとに、野菜をつくり、市民に戻していく。農家の方も前向きなので、連携を強化して、もっと市内で広がってほしいと思っています。緑町でもそんな取り組みができればと思います。

防犯面で、交番を減らしてほしいというご意見があります。市内の交番も統合をするという方向性が打ち出されています。警察の案では、西久保交番と吉祥寺本町4丁目交番を統合したいと。例えば、交番が2つあって、1人ずつ配置をしたとすると、パトロールに行けない。1つにして2人にすれば、1人はパトロールに行けるといふことだそうです。地域のパトロールを重視するために、交番の統合化をしていくんだと。ただ、交番があること自体、心の支えになります。警察署長が来られたときに、市としては何とか交番の存続をお願いしたいと申し上げました。

防災面については、この武蔵野台地には大きな河川ありませんが、最近、集中豪雨が多いことから、北町地区を含めて、水害が起こらないようにするまちづくりを進めていきたいと考えています。防災公園も各地に広げていきたいと思っていますので、場所等を考えながら、順次、整備していけたらと考えています。

コミセン利用も、皆様が地域の拠点として利用できるような形で、協議会を中心にコミセンのあり方、運営方法を議論いただいたうえで、必要な支援をしていきます。若い方もどんどん巻き込んでいただければ、より活性化していくと思います。

この地域にある**テニスコート**を人工芝にしてほしいというご意見ですが、確かに、雨が降るとすぐ利用できなくなります。昨年、整備したばかりですので、すぐに人工芝というわけにはいき

(*7) コンポスト…生ごみを堆肥化する大型生ごみ処理機。桜堤団地に設置されている。

ませんが、天候不順の際にも使える形態として、オムニコート化を研究していきたいと思います。

野球場のナイター設備について、議会に陳情を提出していただきまして、条件つきで採択されている案件です。野球をするスペースがなかなかないという中で、利用時間を長くすることによって、利用者数が増えていくのではないかと。しかし、照明器具をつけることが、地域の夜の環境を阻害するという課題もあるので、クリーンセンターの建替えも視野に入れながら、意見を重ねて、検討していきたいと思います

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については25ページをご覧ください。)

1. 地球環境問題の啓発について

【発言意見】

地球温暖化の施策の問題で、環境政策課から市民がこんなことをしましようというパンフレットが出たが、あまり普及していない。地球の温暖化で大変だと声だけはかかってくるんですが、個人が何をすればいいのかということ具体的をPRしてほしい。

【市長】

資料をつくるだけではなくて、積極的にPRをする工夫をしていきたいと思います。



2. 中央通りの桜並木について

【発言意見】

国立駅の大学通り沿いの桜を見た。桜の根は地表の浅いところを張っていて、踏むと木にダメージがかかる。国立市はかなり歩道を拡幅して、桜の木の根元を養生している。武蔵野市の中央通りのアスファルトが割れていて、桜の木の根がはみ出ている。桜並木も武蔵野市のシンボルなので、市から、注意を促すプレートをつけるなどしてほしい。

【市長】

桜は寿命が50年ぐらいと短く、中央通りの桜はほとんど超高齢化社会を迎えており、根が歩道に来ていて、それを踏みながら歩いているわけです。国立の場合は、広い歩道があって、十分に保存ができていますが、本市としても狭い歩道の中で、どうやって桜を守っていくのか。あるときに思い切った英断をして、植えかえていくということもしないといけないと思いますが、市のシンボルの1つですので、なんとかして保全していきたいと考えています。

3. 就労支援について

【発言意見】

高齢者、障害者、若者の住宅等、様々な課題がありますが、ベースになるのは、有償であろうが、無償のボランティアであろうが、働くことであると思う。障害者就労支援センターを積極的に展開するなかで、市関係の公共関係の仕事に優先的につけていただきたい。横河電機など、大企業があるので、地域優先の求人をしていただきたい。

【市長】

元気で働いていただく場もつくっていかないといけないということは感じていますので、これから大いに研究していきたいと思います。

4. 緑町コミセンについて

【発言意見】

コミセンの位置が3丁目にあって利用しづらいという意見について、このコミセンの敷地はテニスコートが8面できる予定だったが、その1面をつぶしてこのコミセンができた。この土地は3丁目の人たちがお持ちだったところを、武蔵野市の人たちの健康とスポーツのためにということで、格安で譲ってくださった。このような経緯できたので、3丁目が遠かったら、1丁目や2丁目の方たちに土地を提供してもらい、つくってくだされば結構。今のところ非常にこのコミセンはいいと思う。

【発言意見】

緑町には老人クラブが3団体あり、公団のけやき会、都営のみどり会、一般の緑町愛光会があり、2つのクラブは集会所を持っているが、緑町愛光会は集会所を持っていないので、すべてコミセンを利用している。会員が現在107名いる。全員出席することはないが、ここはとても狭い。普段、2階の部屋を使うが、エレベーターがない。ひざや腰が悪い方が多くなって、畳の部屋は苦痛である。コミセンの方をお願いして、座いすを買ってもらったが、洋室を増やしてほしい。

【市長】

ここのコミセンは手狭であるということもありますが、これ以上、現施設では広げられないので、どういう利用が必要なのか、どういうスペースが必要なのか、意見をいただきたいと思います。すぐに建替えというのは難しいですが、ご要望を重ねていただいて、いつの日にかきちんとしたものができればと思います。

5. 文化事業団の催し受付について

【発言意見】

市民文化会館で、アルテ友の会（*8）という形でいろいろな催しの申し込みを受け付けているが、市外の方の参加のほうが多いのではないかと。電話がつながったと思ったら、毎回、満杯という状況である。市の税金により、催し物を安い料金で提供しているので、市民と市外の方の受付日を変更して、1～2日ずらして、受け付けるなどの対応をお願いしたい。また、受付が10時からだが、種目によっては18時からとか、働いている方も申し込みができる状況をつくってほしい。

【市長】

幾つかの催しについては市民の優先があったかと記憶していますが、もっと市民優先というのも考えていいかと思っていますので、文化事業団とも協議して、研究をしてみたいと思います。

(*8) アルテ友の会…入会すると、武蔵野文化事業団で主催する事業のチケット割引や毎月の情報誌送付等の特典を受けることができる。

4. 都市基盤

【市長】

ムーバスは、非常に評価をいただいている、これからルート変更を含めて、どう改善していったらいいのかが、研究課題だと思いますが、今年度については、ムーバスの新規路線を提案します。交通の空白地帯、バス停から遠いという地帯がまだ市内にも幾つかあり、そこを先行していきたいと思います。それを踏まえながら、全体的なネットワークがうまくいくのかということ、議論をしていきたい。しかし、一旦ルートを通したところですので、ルート変更はなかなか難しいです。例えば、公共施設ができたので、そこに回していこうとか、利便性がより増すものであれば、検討の余地がある気がします。

自転車問題について、暴走自転車の話もありましたけれども、駐輪場も足りていない。三鷹市で駅南口に自動式の地下駐輪場をつくりましたが、うまくいっているか見守りながら、本市でも、立体利用も視野に入れて、駐輪場のつくり方を研究していきたいと思います。

緑町公団の家賃については、都市再生機構に値下げを伝えています。周辺の家賃とのバランス、状況を考えて決めているということですが、都市再生機構にも、家賃が高いということを繰り返し言っていきたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については32ページをご覧ください。)



5. 行・財政

【市長】

市民参加について、これから団塊の世代の方が退職を迎えられて、地域に戻ってくるということで、大いに期待をしたいと思います。退職された後ではなくて、今から参加いただきたいと思います。今回の調整計画の市民会議の委員の募集にも団塊の世代の方は大いに手を挙げていただきたいと思います。

ジャンル別のタウンミーティングについては、ご要望に応じて検討していきます。また、名称はタウンミーティングではありませんが、外かく環状道路や吉祥寺グランドデザインについて、市民の皆様との意見交換会が開催されています。この地域でもいろんな問題がありましたら、ご提案をいただきたいと思います。

市民会議が多いという指摘については、議論するテーマがいっぱいあるので、多くても何とか協力をいただきまして、それぞれいろんな意見をいただきたいと思います。

バランスシート(*9)は、市民の方がわかりづらい面があるので、それを解説するような場ができないかどうか考えてみたいと思います。

市議会の傍聴席の椅子が座りづらいということについては、私も長時間座ったことがないので

(*9) バランスシート…市の財務状況などを正確に把握し、コスト意識を持った経営を行うために、公会計制度に企業会計の考え方を取り入れた財務諸表。

すが、こういうご意見があったということで、記録に残しておきたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については35ページをご覧ください。)

1. 防災・安全センターについて

【発言意見】

防災・安全センターは市役所内につくるとのこととだが、地震が来たときに、まとまったところでコントロールするのに、体育館の中にセンターをつくってはどうか。

【市長】

現在、市役所西棟を増築して、防災・安全センターを建設しています。非常時の拠点になるということで、常設型の施設になりますが、来年の6月には完成します。体育館はいざというときの救援物資の集積センター等になりますので、常設型は市の新たな防災安全センターの中でおさめたいという考えです。

(4) 閉会のあいさつ

【市長】

まだ言い足りない意見等々、あろうかと思えます。今日をきっかけとして、緑町の皆さんとこれからいろんな意見を交わしながら、緑町のいいまちづくりを一緒に進めていきたいと思えます。本日はご参加いただきまして、ありがとうございます。また、この企画運営にあたりまして、随分前から緑町コミュニティ協議会の皆さんにご苦勞をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

【緑町コミュニティ協議会委員長】

長い時間、本当にありがとうございました。市長にいろいろとご回答をいただき、いろんな話もしていただきまして、また緑町も元気を出して、これからやっていけると思えます。コミセンは住民の方々、市民の方々の協力で成り立っています。みんなの力で運営していくというのが基本ですので、何かあったらどんどんおっしゃっていただいて、改善するところは改善していきたいと思えます。きょうは大勢の方においでいただきまして、ありがとうございました。

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
高齢者福祉	1	一人暮らしの孤独死 地域の連携をもっと強化してください。	平成17年3月に策定した「武蔵野市福祉総合計画」においても、多様な「孤立予防」施策が課題となりました。武蔵野市民社会福祉協議会では平成7年から「地域社協」の立ち上げを推進し、安心見守りネットワーク活動など地域の連携による地域福祉の推進を図ってきました。現在13の「地域社協」が全市を網羅し、様々な地域活動と協力して「福祉のまちづくり」を進めています。市としては、社会福祉協議会を中心に地域住民による自主的な「地域の福祉力」を支援していくことを基本姿勢としています。緑町は「大野田福祉の会」がパークタウン自治会や都営住宅自治会と連携して、高齢者を対象に緊急連絡カードを配布するなどネットワークづくりに取り組んでいます。
	2	この地域は老夫婦、一人暮らしが大変多いので、「みまもり」についてモデル地域として是非具体的に検討してほしい。集合住宅地域としての「みまもり」システムを地域に投げかけてほしい。	
	3	福祉の関係、地域の見守りの方法、集合住宅の自治会と行政が連携したらどうか。	
	4	一人暮らしの件 孤独死が心配です。	市では、おおむね65歳以上のひとり暮らし、または、高齢者の方のみの世帯で、一刻を争う重大なご病気をお持ちの方、主に、心疾患や喘息等の発作のおそれがある方に、緊急通報装置を貸与しています。また、日頃から地域の在宅介護支援センターや民生委員などへ相談し、ご本人の健康状況や親族の連絡先がわかるようにしていただくとともに、緊急連絡先を携帯電話等にご登録いただくなど、ご自身での突発的な事態への備えをお願いします。また、緊急通報のシステムには、日々新しいものが開発されていますので、最適なものを採り入れることができるよう、効果やコストの面も含めて、研究していきます。
	5	一人暮らし高齢者の安全対策 この地域は、都営・機構と集合住宅が多く、一人暮らし高齢者が多い。万が一のときの安全対策は急を要する。どう考えるか？	
	6	孤独死をについて もっとよい方法がないか、科学的なものを設置してほしい。	
	7	都内の都営住宅と都市再生機構の賃貸住宅だけで2004年度に410人の孤独死者が出ています。福祉行政の充実に加えて、地域のコミュニティづくりが問われています。	
		緑町パークタウン及び都営住宅の地域においては、高齢者総合センター、ハウスグリーンパークなど近隣に福祉施設及び地域包括支援センターなどがあり恵まれた立地となっています。また、都営住宅建替えに伴い、障害者施設、子育て施設が建設予定となっています。地域のコミュニティづくりは、行政が一方的に実施してできるものではなく、地域の住民や組織などと協力しながら、推進していくものと考えます。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
高齢者福祉	8	隣のお年寄りには病気もちで、先日発作になり、介護人(ケースワーカー)の女性が救急車で運びました。	地域の在宅介護支援センターやケアマネジャーがご相談を受け、様々なサービスを利用し生活を支えています。今後もより一層関係機関と連携しながら対応していきます。
	9	現在夫婦共76才。私は肝臓病をかかえ、妻は要介護2に該当している。ほとんど寝ている(通院3カ所あり)。家事一切の仕事をしているが、見通しが暗い。今後、市がこのような世帯に対してどのような方策があるかお聞きしたい。	在宅での生活を支えるために介護保険、市独自、民間などの様々なサービスがあります。サービス利用については地域の在宅介護支援センターがご相談の窓口となりますのでご利用ください。
	10	高齢者福祉センターの利用者のアンケートをとることを考えてもらいたい。職員の方、又、お手伝いの方に問題のある方がいるので考えてください。アンケート用紙をおく様に。	高齢者総合センターの利用に関しては、様式を問わず、お気づきの点がありましたら、ぜひご意見をお寄せください。なお、市への直接のご要望については、「市長への手紙」の用紙と封筒を1階受付窓口にご用意しています。
	11	私62才元気 62才以上で元気な人に仕事下さい。	おおむね60歳以上の高齢者の方の職業の紹介や相談は、シルバー人材センターで行っています。職種も一般事務、植木剪定、宛名書き、家事援助、駐輪場や建物等の管理等、いろいろございますので、お仕事をお探しの際には、シルバー人材センターにご相談ください。
	12	放置自転車(例 西東京市) 植栽(高木)管理(例 府中市) シルバー人材センターを活用すべきである。	現在、シルバー人材センターには、武蔵境北口の放置防止指導や、三鷹駅及び武蔵境駅周辺の駐輪場の一部の運営業務をしていただいております。また、庭木剪定については、約30名の会員が従事しておりますが、個人宅の樹木剪定で予約がいっぱいの状況です。今後は共同住宅等の大型住居についても市場を拡大できるよう会員の増員を図っていきます。
	13	都営住宅の建替えに伴う空地をぜひ借り上げまたは買い上げていただき、ここにお年寄りと子どもの交流の場(建物)をつくり地域の人でかかわりながら。	都営住宅の建替えに伴って生じるスペースの利用方法に関しては、東京都との連絡を密にし、情報収集を行ってまいります。
介護保険	1	訪問看護の充実を心から希望しております。夫が直腸の手術人工肛門となり、現在週2回自宅に看護師さんが来て親切丁寧に身体の清掃、その他のお世話を下さり、夫も私も心から感謝しています。看護師さんの人員その他の充実を、繰り返し心から希望しています。	医療的ニーズの高い方の在宅生活を支えていくにあたって、訪問看護等の医療サービスの充実が必要不可欠なものと考えています。今後も市としましては、事業者に対する研修等を通じて、資質の向上等に努めていきたいと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
介護保険	2	介護保険の利用者負担を軽減してほしい。	利用者負担の7%を所得等に関係なく市独自に助成する制度については、旧制度からの激変緩和という所期の目的を達成したと考えられることから、本年6月利用分までで終了し、7月から低所得等の方に限り5%の補助という形で新たな制度をスタートしたところです。 現行制度では、保険給付費の19%を65歳以上の方(第1号被保険者)が負担していることから、保険給付費の増加により保険料が上がります。市では、現在、介護費用の増大を抑制するという観点から、高齢者の方が、要介護の状態になることを防いだり、状態の悪化を防いだりすることに重点を置く介護予防施策や健康づくり支援の取り組みを進めております。
	3	介護保険の保険料を上げないでほしい。	
障害者福祉	1	視覚障害者の就労支援 ・視覚障害者に合った仕事の開発をしていただきたい。 ・市役所採用試験が点字でも受けられるようにしてください。	現在「障害者就労支援センター」の開設に向けた準備に入っていますが、視覚障害者はもちろんのこと、障害の種類にかかわらず障害特性に合った就労が、より幅広い分野で実現できるようなセンターにしていきたいと考えています。 また、市役所における視覚障害者の方の採用については、今後、必要に応じて関係部署と調整しながら、調査・研究してまいります。
	2	小中学校、学童保育などの教員・指導員に、障害児教育の専門性を備えた人をきちんと配置してください。子どもは一刻も待てません。	小学校において、障害児教育の専門性を備えた教員を適切に配置するよう、都にくり返し要望してまいります。 学童クラブにおいて育成の対象としている障害児は、おおむね軽度及び中程度で、集団生活に適應できることを条件としています。また、現在在籍する障害児に対応できるよう、指導員に対して毎年研修を実施しています。
健康増進	1	クリーンセンター健診(毎年2回実施)と老人健診が誕生日の関係で重複するため、クリーンセンター検診を受診していません。何か受けられる対策ご検討願えませんか。	基本健診は誕生日健診で誕生日とその翌月に受診できます。健診で重複する項目(胸部レントゲン等)は除いて受診することもできます。
医療	1	医療改悪反対です。	このたびの医療改革は、国が「安心・信頼の医療の確保と予防の重視」「医療費適正化の総合推進」「超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現」等の考えに基づき、改革を行おうとするもので、市としては、将来にわたって、必要な方に必要な医療が保障されるような制度を持続させるため、一定の改革は必要であると認識しています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
医療	2	健康・犯罪・事故・防災・教育において予防医学的考えで地域の人の参加による弱者の視点で、住民の向上を図る。例えばプライマリーヘルスケアなど。	プライマリーヘルスケアは、健康づくりの基盤整備と人づくりのプロジェクトと考えられます。健康の分野では、健康づくり支援センターを開設し、健康づくり情報の収集・発信を行うとともに、地域単位に「健康づくり推進員」を養成し、人材バンクによる出前講座、「はつらつメンバー（健康づくり推進員）」の登録などの活動で、市民の「自分の健康は自分で守る」という健康意識の向上を図っています。

②子ども・教育

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	1	少子化対策は？	出生率低下の原因については、未婚化、晩婚化が原因であるといわれ、国においてもエンゼルプランや新エンゼルプランで少子化対策が進められてきました。少子化は次世代の年金・医療費負担、若年労働力の減少など、社会保障や経済活動に与える影響が懸念され、子育てしやすい環境づくりを推進していくことが重要だと考えています。本市においても、次世代育成対策推進法に基づき、「第2次子どもプラン武蔵野」を策定し、①保育園を含む乳幼児期の子育て支援の充実、②全児童対策としての地域子ども館「あそべえ」、放課後児童対策の学童クラブ等の充実、③子育てSOS支援センターの充実等、多様な子育て支援策を実施しています。
	2	0123の利用者が杉並区など他市区の人が多いと聞きますがいいのですか？	0123吉祥寺・0123はらっぱは合わせて年間約4万人が利用するなど、子育て支援施設として大きな役割を果たしています。市内の利用者の増加を図るため、従来のチラシ等による案内方法を見直し、平成17年度から、読みやすいように工夫したハガキを対象者にお送りして周知を図っております。昨年度の実績は、市外の方は、吉祥寺で48%、はらっぱで37%の利用となり、両施設とも前年と比較すると市内利用者が増加しました。現在の利用者数であれば施設利用上の問題はないと考えています。子育ての負担感、不安感などを解消するための自由来所型の施設であることや武蔵野市民も他の区・市の施設を利用させてもらっている現状を考えても、現在のところ利用を制限することは考えていません。
	3	旧中央図書館の建物がずっと放りっぱなしになっているのですが・・・子育て支援の拠点にしては如何？床面積も広いので0123的なものから、相談室、孤立した子ども自身が訪れ気軽に入れるカウンセラー室etc。総合的な子どもセンターになればいいなあ。	旧中央図書館跡地については、長期計画等において、歴史資料館の設置候補地の一つとされておりますが、本年度から始まる調整計画策定の中でさらに議論すべきものと考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	4	<p>孤立した子どもクラブ、団体に属さないで方向がつかめていない、友達がいない、家でも心が開けないなど。</p>	<p>地域で孤立した子どもと家庭へのサポートとしては、子育てSOS支援センターの相談の電話番号や匿名でも相談できること等を記載した「子どもの人権相談啓発カード」を発行し、市内小中学校の児童生徒、保育園、市内関係機関、診療機関等に配布しました。</p> <p>また、保護者と地域社会が子どもを育てるという考えから学校施設を利用して子どもたちの居場所づくりや異年齢児童の交流を目的として、市立小学校12校で、地域子ども館「あそべえ」を実施しています。</p> <p>利用については、自由来所型で費用は無料です。一人で来館されてもしっかりと温かく見守る館長・スタッフが出迎えます。なお、学期初めに保護者全員に事業案内のチラシを配布しています。市報等においても子ども対象事業や土曜学校を掲載して周知を図ることにより、きっかけ作りに努めてまいります。</p>
保育園	1	<p>保育園が足りないのではないですか？</p>	<p>本市には、市が財政負担をしている保育施設として認可保育園14園・東京都認証保育所3園・保育室1室・家庭福祉員（保育ママ）6名があります。</p> <p>平成18年4月における認可保育園の待機児童は、42名ですがその他の保育施設には空きがある状況です。また、平成18年9月には東京都認証保育所が1園新設されます。今後とも状況等を勘案しながら検討していきます。</p>
小・中学校教育	1	<p>教師の再教育。子どもの犯罪をなくそう。親の反省。</p>	<p>子どもたちの非行や犯罪防止に向けて、学校・家庭・地域及び関係機関との連携を一層強化してまいります。</p>
	2	<p>教師の質を向上させてほしい。</p>	<p>今後も、市立小中学校の校内研修や教員対象の研修会等を一層充実させることにより、教師の指導力の向上に努めてまいります。</p>
	3	<p>憲法精神の教育</p>	<p>学習指導要領において、小学校の社会科では、現在の我が国の民主政治は日本国憲法に基づいていること、中学校の公民では、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて、理解を深めさせることが示されており、小中学校ではこれらに基づいた学習が行われています。</p>

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
小・中学校教育	4	セカンドスクール見直しについて。	小学校から中学校にかけての9年間を見通した今後のセカンドスクール等、体験活動の望ましいあり方について、現在、体験活動検討委員会で検討しています。なお、セカンドスクールは教育課程に位置づけられた授業の一環として行っています。
	5	セカンドスクールの見直しを！プレセカンドは不要。税金で小学生に何度も修学旅行に行かせる必要はありません。日常的に持続できる体験学習を！	
	6	中学生の居場所として中学校の校庭を開放してください。水曜午後はどこも部活がなく空いています。	学校施設の団体開放は、学校教育に支障のない範囲で行っていますので、市としましては、それぞれの学校の判断になるものと考えています。学校のほか中学生の居場所としまして、図書館・体育館・コミセンをはじめ、様々な公共施設もご利用いただければと存じます。なお、武蔵境駅南口に建設予定の「武蔵野プレイス(仮称)」において、多目的スタジオ等を設置し、青少年の居場所としての機能を持たせる予定です。
	7	来年度から中学校の「学区制」を廃止して「自由選択性」にしてください。特に四中は生徒数が多く荒れているので対策をして欲しい。	本市は住所により指定校が決まる学区制をとっていますが、児童生徒の個々の事情については「武蔵野市立学校の就学学校の指定の変更に関する要綱」により、柔軟に対応しています。市立小中学校のいわゆる自由選択制については当面、実施の予定はありませんが、今後とも調査、研究をまいります。また、四中を含めた中学校の生活指導については、家庭や地域、また警察等の関係団体と連携を深めながら、今後一層適切迅速な対応を図ります。
	8	小中学校での生活上の課題(いじめ・不登校)を情報開示するようになってほしい。	各学校において、自校の生活指導上の課題や対応に関して、保護者や地域の方々に対して積極的に情報提供を行うよう働きかけてまいります。
中学校給食	1	早めの中学校給食実現をお願いします。	7月31日に第1回目の中学校給食検討委員会が開催されました。この委員会で、中学生にとって必要な給食のあり方などを検討いただき、その検討内容などをもとにして、平成19年度を初年度とした中学校給食実施計画づくりを目指します。
	2	平成20年4月から中学校給食が開始されますようにお願いします。	
	3	中学校給食の実施について、いつからどんな内容の給食を実施される心づもりなのか明言してほしい。(「検討」という言い方ばかりなので)	
	4	子どもの健康を一番に考えた中学校給食を。欠食対策では困る。	
	5	学校給食による食育の徹底。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
学童クラブ	1	大野田クラブには障害知識をしっかり持った指導員を一人置くべきではないのか。	学童クラブで、育成の対象としている障害児は、おおむね軽度及び中程度で、集団生活に適應できることを条件としています。また、現在在籍する障害児に対応できるよう、指導員に対して、毎年研修を実施しています。
	2	補助の方は指導員へ付けるといった型ではなく、障害児の子どもにつける方が良いのではないのか。	障害児を受け入れる場合には、補助指導員(アルバイト)を配置しておりますが、障害児の育成だけを行う形はとらず、本来配置されている指導員とともに全体を見る形をとっています。必要なときには、障害児を中心に面倒を見るなど、全員で臨機応変に対応しておりますのでご了解ください。
青少年施策	1	小中学生向けの土曜学校についてたいへん内容の良い講座もあるので、抽選や希望者だけでなく全児童・生徒に向けて、体験できるように考えてほしい。	できる限り希望をかなえたいと思っておりますが、会場や指導方法などにより定員を設定せざるを得ないことをご理解ください。なお、希望者が多く、好評なものについては、今後、柔軟な対応ができるよう研究していきます。

③緑・環境・市民生活

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	1	集合住宅のごみ収集について、有料化と戸別収集が落ち着き次第検討するという返答をもらって1年が過ぎました。分別の不徹底さ、不法投棄、カラスのいたずら等困っています。いいアイデアがないか住民と行政が話し合う時間を持ってほしいものです。	集合住宅のごみ集積所をめぐるお困りの点などありましたら、解決に向け、地域の皆様と協働して取り組んでまいりますので、具体的な状況について、ごみ総合対策課(Tel.60-1802)にご相談ください。話し合いの場を設けていきます。
	2	集合住宅はごみ置までもって行き(11階から)個別は玄関前。これは同じ有料袋で差があるのでは・・・これをなんとかよい方法があれば。	マンション等の集合住宅は、「武蔵野市宅地開発等に関する指導要綱」により、事業主に清掃施設(ごみ集積所)の設置が義務付けられています。集合住宅のごみ集積所は、全体の約20%を占めており、これを1棟から1軒取りに移行することは現状では収集効率の面からも難しい状況です。
	3	都営に住んでいます(緑町)。ごみ集めの件で、一般の住宅は個別で集めていますが、私達は1つの号棟でまとめています。せめて階段にしていだきたいと思えます。	階段(1階部分)出しについては、居住者全員の合意があり、ごみ置場の管理が十分になされれば、収集効率・費用対効果等を含めて検討してまいりたいと考えておりますが、消防法等の制約もあり実施は難しいと思われま
	4	集合住宅のごみ市にお願いするのはおかしい。自分達のことは自分たちで。	ごみ出しが困難な方への支援策として「ふれあい訪問特別収集」制度を実施しています。
	5	集合住宅で大変不法投棄がたくさんある。これをどうしたらなくせるか・・・10月頃からあるけど、市は取りに来ない。せめて10月頃の分は処分してほしい。	私有地に不法投棄されたごみは土地の所有者又は管理者が処分するよう条例で定められています。このため、市では一切回収をいたしません。所有者や管理者には、市から連絡して、処分をお願いをしています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	6	ポイ捨て ごみ問題	ポイ捨てや不法投棄防止についてのキャンペーンを6月の環境月間に設定し、「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」として実施しました。今後は地域の皆様と協働し対策を進めていきます。
	7	ごみの分別方法が変わって不燃ごみが激減しました。現在の週1回を2週に1回または月に1回でも十分と思われます。エネルギー、税金の無駄遣いからも早急に手を打ってください。	排出されるごみの量に応じた適切な収集体制のあり方については、今後ごみ処理計画の見直しの中で、検討してまいります。
	8	焼却炉 いつ、いくらで何を焼く計画をいつ立てますか。	平成19年度に策定する「一般廃棄物処理基本計画」の資料を踏まえ、将来のごみ質やごみ量を基本に、建設に必要な計画処理量等の推計値を検証しながら、施設規模を検討します。また、建替え時期についても、基本計画の中での検討を待ち、クリーンセンター運営協議会・市議会との協議を進めてまいります。
環境	1	緑化木々の剪定。 信号が見えない。暗くなっている。	街路樹は、夏場歩道に木陰をつくるなど良好な歩道空間を創出していますが、信号が見えない、歩道が暗い等、具体的な箇所をご指摘いただいた場合は、防犯・安全の観点から、必要に応じて適宜対応してまいります。
	2	ガソリン車を少なくするために、市の車(市長車含む)をなるべく少なくしてタクシー利用にしてはどうでしょうか。タクシーは天然ガス使用のため。	市としても、タクシー利用を含め、なるべく鉄道・バスなどの公共機関や自転車などを使うようにして、市所有車の使用を抑制しています。ただし、いくつも施設を回ったり長距離の移動を行う場合には、市所有車を利用したほうが時間や費用がかからないため、一概に市の車を減らしてタクシー利用を増やすというのは困難な面もあります。また、市では環境問題に配慮し積極的に低公害車の導入を行っています。なお、市長車はハイブリッド車、ゴミ収集車は全て天然ガス車を使っています。
	3	7割が地下水の武蔵野市の水を守りたい⇒ディスポーザー付マンションの規制をしてください。残さ、汚泥の処理も問題。	市では、総合治水対策の一環として、下水道や河川への雨水流出を抑制し、都市型水害の軽減を図るため、雨水流失抑制施設設置要綱を定め、公共・民間を問わず施設の新築や改築等の際には、雨水浸透柵や浸透管を設置させて地下へ涵養するよう指導しています。マンションにおけるディスポーザーの設置については、建築確認申請時に自粛を指導しています。ただし、(社)日本下水道協会が作成した「下水道のためのディスポーザ排水処理システム性能基準」に適合したものについては、適切な維持管理を行うことを条件に、市と協議して設置を認めています。残さ、汚泥については、ごみ総合対策課で適切な処理を指導しています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
地域猫	1	のら猫をどうするかという問題。	野良猫の問題は法的な根拠が乏しく行政で対処できない課題のひとつです。しかしながら、市では市民向けにワークショップ「ニャンポジウム」を開催し、その中で「むさしの地域猫の会(仮称)」設立の動きがあり、野良猫・不妊・去勢等の様々な問題が解決できる糸口となればと見守っています。猫と共存するために、主な活動は地域での団体が担い、市が協力することで、解決が図られるか否か模索しています。
千川上水	1	練馬区との境の吉祥寺橋周辺で検査を行っているようだが、具体的にどのような検査をしているのか？	市では玉川上水(上流・下流)と千川上水下流の計3箇所を年2回の頻度で水質測定を行っています。この水は下水道の処理水ですが、水質汚濁防止法の排水基準である生活環境項目(PH・BOD・浮遊物質等)及び環境基本法の人々の健康の保護に関する環境基準(カドミウム・シアン・有機リン・鉛・クロム・砒素・有機溶剤等)を測定し、上流から下流までの間に水質変化があるかどうか確認しています。今までに基準超過はありませんので、市内の途中で汚染された物質が流入していないことが確認できています。
	2	千川上水の管理運営について埼玉県新座市が武蔵野の雑木林の清掃等に「環境サポーター」というボランティア組織を作って市民参加型の形式にしています。ご参考まで。質問ではございませんが。	千川上水は平成18年度から東京都より委譲を受けました。今後は、市の予算で樹木の管理等を着実にまいります。
	3	川内を業者に掃除してもらっているが、今後は、市に管理が移ったが、この管理費用はどこから出ているのか。	管理ボランティア団体への助成制度もありますが、他市の状況も確認研究していきたいと思えます。ねずみについては、東京都から委譲の際に駆除を行ったという報告を受けていますが、今後とも必要に応じて適宜対応していきます。
	4	千川沿いの手入れと、「ねずみ」駆除対策。	
	5	防犯防災を含めた樹木の剪定、雑草の刈取りをしてほしい。 街灯を増設してほしい。 護岸を自然石にしてほしい。	樹木の剪定、草刈等は防犯・防災面を考慮して行っていきます。 また、千川上水遊歩道部の街灯の増設については、市民の皆様と整備方法の検討を行い、整備時に増設していきたいと考えています。 護岸を自然石に変えるのは、費用もかかることから、十分な検討が必要であると考えています。
	6	千川上水 ・都からのお金は ・データは ・落ち葉のくみ上げは ・これからどうする	都から管理費はいただいていません。市の予算で管理してまいります。落ち葉のスクリーン清掃についても今後とも市で行います。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
千川上水	7	大木が茂り、つつじ草等が茂り、特に子どもたちが安心して遊べない。 電気が暗い。 早く草取り等をしてほしい。	樹木の剪定、草刈等は防犯・防災面を考慮し、現在順次行っていますが、早急に対応してまいります。また、千川上水遊歩道部の街灯の増設については、市民の皆様と整備方法の検討を行い、整備時に増設していきたいと考えています。
緑・公園	1	三鷹駅北口前にコツゼンと現れる緑のかたまり。店舗兼住居が建築される予定とのことだが、なんとしてでもあの緑のかたまりは守るべき。	中高層建築物の建設計画にあたっては「武蔵野市宅地開発等に関する指導要綱」に基づき、緑化等の指導を行っています。特に大木を中心に既存樹を保全できるような建物配置を指導しています。
	2	緑町のこの緑をより一層大切にしていくために学校と連携して子どもたちに樹名板をつけてほしいです。秋には落ち葉を学校や公園の落葉堆肥場に地域の大人達と一緒に堆肥作りをしながら、その循環を体で知っていくのも環境教育の一環としてしてほしいものです。	小学校と連携して子どもたちと樹名板の取付や、花壇づくりを行う事業は、希望がある小学校では既に実施しています。また、落ち葉の堆肥化についても、「落ち葉の感謝祭」等のイベントを通して、その大切さや重要性を伝えると共に、希望のある小中学校には多摩地域の木材を利用した堆肥置き場を設置しています。今後も小中学校と連携を取ながら、身近な自然を通じた環境教育を積極的に進めてまいります。
	3	緑町地区、北町地区、千川上水を一体とした統一感のある「緑の環境整備」をご検討ください。	市では、「緑の基本計画」に基づき、公園緑地等の「緑の拠点」と玉川上水や千川上水等の「水辺空間」、遊歩道や街路樹などの「緑の軸」、市の緑の70%を占める「民間の緑」を有機的に結びつけていく「緑と水のネットワーク」づくりを進めており、今後も地域の特徴を考慮した特色ある緑の空間づくりを進めてまいります。
	4	街路照明の確保のために緑を切らないで、背の低い街路照明に切り替えができませんでしょうか。	防犯・安全面を考慮した樹木管理も大切なことであると考えています。道路法の規定により、車道で路面から4.5m、歩道で2.5m以下には構造物の設置ができませんが、具体的な場所指摘をいただければ、同規定の範囲内で検討させていただきます。
	5	国立(くにたち)の桜並木のように中央通りももっと桜の根の保護を考えていただきたいと思っています。	中央通りのサクラは市のシンボルでもありますので、他市の事例も参考にしながら保存していきたいと思えます。
	6	ふれあい広場歩道の街灯が、枝の中に埋まり、歩道を照らしていない。防犯上、植木の整備を含めて、安心して夜歩ける状態にしてほしい。	防犯・安全面を考慮した樹木管理も大切なことであるとと考えています。現状を調査し、対応いたします。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
緑・公園	7	中央公園にカフェを！ ・スタッフは障害児や高齢者（働くことが誇りを持てるようなユニフォーム着用） ・運営はかつてのビジネスマン（ビジネス感覚を持ち、マネージメントの出来る方） 利益を上げてスタッフに還元できるように・・・	中央公園は、都立公園であるため直接の回答はできませんが、都の担当部署に今回のご意見は伝えます。都では、現在公園別にマネジメントプランを策定中のようなので、ご興味があれば問合せいただければと思います。
	8	公園の活用 地域で健康のために活用できる緑地の必要性。	公園は地域の皆様が憩え、活動できる場所です。公園改修時には、近隣の皆様の意見を伺いながら整備していますので、改修時のワークショップ等にご参加ください。
	9	三鷹駅あるいは武蔵境までの遊歩道の整備。	現在、中央公園からグリーンパーク遊歩道、玉川上水緑道を通り、三鷹駅に抜ける遊歩道、また、玉川上水緑道から本村公園を通り武蔵境駅に抜ける遊歩道が整備されています。
	10	市民の散策路を整備してほしい。 ・文化財散策マップに収録された道をもとに散策路を拡充 ・道に路線番号・交差点番号などをつける ・案内マップを各駅に配置する ・沿道に案内板やベンチなどを整備する ・玉川・千川上水の歩道を姉妹都市の間伐材で舗装し、庭園灯を設置 ・沿道にオープンカフェやギャラリーなどを楽しめるスポットを誘致	現在、市内の緑の拠点などを結ぶ5つの散歩道が整備されています。今後とも、案内板の設置やベンチの配置、庭園灯の設置など散歩道の拡充なども視野に入れながら、市民の皆様が利用できるような管理を行ってまいります。オープンカフェについては、十分検討を行う必要があると考えています。
就労支援	1	どのような就労支援をしているのか。今後どのようにしていくつもりなのか。	ハローワークや東京都仕事センターと連携して就職支援セミナー等を開催しています。就労支援事業は広域で行われていることから、それぞれ機関で行なう事業のパンフレットを配架して、周知を図っています。今後とも東京都やハローワーク等と連携して、就労支援に取り組んでまいります。
農産物	1	市内農産物には絶対に遺伝子組換えを施さないでください。	現在見直しを行っている農業振興基本計画において、「遺伝子組み換え作物は栽培しないなど農業者や関係団体を調整しつつ、安全な農作物の提供を進めていく」という方針を盛り込む予定です。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
防犯	1	主に小学生の送り迎えを安全に。PTAでも協力を。	現在、市民安全パトロール隊による地域密着型のパトロールを実施するとともに、ホワイトイーグル車により、学校・保育園など、子ども関係施設の巡回パトロールを実施しております。 小学生の登下校時の見守りにつきましても、警察等の関係機関との連携を深めるとともに、PTAや地域の方々のご協力をいただきながら、安全管理・安全指導の一層の徹底を図ってまいります。
	2	交番を減らしてほしくない。交番の標識を統一して目立つようにしてください。	交番の存続について、市として警視庁、武蔵野警察署に要望しました。標識についても警察に要望いたします。
	3	〈防犯・保護問題〉 高齢者・子ども パトロール等 (緑町3丁目町会は独自で役員中心で巡回スタートし始めたところ)	市・警察では、防犯に関する様々な取り組みを行っています。防犯用品については警察で配布しているものもありますので、ご相談ください。それ以外のものについては検討してまいります。
防災	1	武蔵野市に水害対策がそれほど必要でしょうか。	近年地球温暖化やヒートアイランド現象などから都市部においても集中豪雨が増加傾向にあります。市内でも昨年9月の記録的な大雨により、吉祥寺北町を中心に多くの浸水被害が発生しました。市では、水害対策を優先課題の一つとして考えており、大雨警報時の防災無線を利用した情報提供や土のうの地域への配備など既に対応したものの他、中長期的な対策も検討しています。
	2	緑町1丁目のえのき公園に防犯グッズ、防災用具を入れる倉庫を作ってほしい。	えのき公園は192㎡の公園で、公園に倉庫等の建物を設置する場合は法的規制がありますので、今後の検討課題としたいと考えています。
	3	防災対策として各公園などに非常用井戸と非常用便所の設置をお願いします。	市内には4つの防災広場を整備してきました。そのほかにも公園改修時には非常用の防災トイレの設置も行っています。また、非常用の井戸については、各市立小中学校等に設置しています。
コミセン	1	コミュニティセンターの環境整備について 緑町コミセンは、地域のはずれに位置すること、利用団体の割には狭すぎます。より整備し、使いやすいコミセンに！	コミセンの環境整備については、管理運営をお願いしているコミュニティ協議会の運営委員や地域の皆様からのご意見を踏まえて、整備を進めています。 コミュニティの地区割りやコミセン建設については、5期にわたるコミュニティ市民委員会や市の長期計画等により市民参加で進められてきました。
	2	利用者が偏っていないか。緑町の1丁目でも2丁目でもよいので建ててください。	緑町コミセンについても、第2期コミュニティ市民委員会(昭和50年～52年)における地区割り、緑町3丁目町会による集会所建設要望などを踏まえ、クリーンセンター建設に伴う地元還元施設として昭和61年に開設された歴史的経過がありますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
コミセン	3	コミセンパソコン学習会に対する支援について。 現在市内11コミセンでボランティアによるパソコン学習会が開催され、多くの市民が参加している。具体的な援助を。	パソコン学習会への市の具体的支援として、学習会で使用しているパソコン機器や事業費など、物資・財政両面で支援しています。今後もパソコン学習会を開催しているコミュニティ協議会のご要望をお聞きしながら、必要な支援を続けてまいります。
	4	コミュニティづくりをしていく。そことコミセンとの連携をつくりながら、充実させていくことが大事かと思います。ぜひ行政と市民と一緒に前向きに考えていけるよう願っています。	ご意見のとおり、地域の各種団体や団地自治会などと連携しながら、コミュニティ協議会が中心となって住民主体のコミュニティづくりを進めていくことが大切であると考えます。市はそれらの動きを側面的に支援するとともに、昭和46年のコミュニティ構想以来今日まで続いている市民と行政との協働を、これまで以上に推進していきます。
	5	'60のスタイルなのでは？「情報コミュニティ」についても検討して欲しい。	電子的なネットワーク上の交流・連携が広まっている現状を踏まえ、各コミセンもホームページを立ち上げ情報発信に努めています。今後も「情報コミュニティ」「電子コミュニティ」に対する支援のあり方について研究を進めるとともに、時代のニーズに対応したソフト面の改善も検討していきます。
生涯学習・スポーツ	1	テニスコートはつぶさないでほしい。(減らさないでほしい)	現在、テニスコートを減らす考えはありません。
	2	テニスコート人工芝にしてほしい。	平成17年度に現行のクレーコートの整備をいたしましたので、そのコンディションを見ながら検討してまいります。
	3	野球場のナイター設備について、今後住民の意向を十分に汲み入れ、納得の行く形で進めてほしい。	住民の方々の意向を尊重し、クリーンセンターの建替えも視野に入れながら進めてまいります。
	4	体育館内、野外活動センターの内容をもっと市報等で市民に知らせる(三多摩で一番の資料がある)	毎年、スポーツ・野外活動情報誌「DO SPORTS」を新聞折込や市立小中学校に配布してPRに努めています。また、今後、市報やホームページなどを通じた広報をさらに充実させるよう研究してまいります。
	5	市民が豊かな芸術文化を享受できるように。文化会館等で行なわれる公演に市民が入場できなく、市外の人が多く参加。電話予約方法の改善を。働いているものも芸術文化に触れられるように。	市民優先公演は現在も実施しているところです。また、チケット受付時間の市民優先については、より多くの市民に利用していただくため、文化事業団と協議し、どのような方法があるのか、検討します。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
生涯学習・スポーツ	6	市の総合体育館にカフェを！ 2Fのレストランは少し立ち寄るには割高でやや閉鎖的。季節限定のオープンカフェはどうか。文化会館2Fのレストラン。催し物がないときでも足を運びたいと思わせるレストランに。	総合体育館のオープンカフェについては、営業面や衛生面などの問題がありますが、研究してみたいと思います。 市民文化会館のレストランについては、どのような創意工夫が可能かも含めて、業者と協議します。
	7	博物館または歴史資料館を作ってください。	歴史資料館については、どれくらいの来館者が見込まれるのか、どれくらいの予算が必要なのか等、いくつかの課題があります。当面、歴史資料の展示企画などを行いつつ、他市の歴史資料館の利用者動向などを見守りながら検討を重ねてまいります。
	8	音楽、演劇、美術工芸、文学などの創造活動の交流を推進してほしい。 ・陸上競技場での野外コンサート開催 ・友好都市南砺市と連携して野外演劇祭開催 ・市民公園にて彫刻コンテスト開催 ・武蔵野市を舞台とする小説・ドラマの公募	今後も、市民ニーズや時代の要請に応え、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、各文化施設が、より活発な交流や文化創造の拠点となるような方策を検討していきます。また、関係諸団体との交流を含めた文化活動についても研究してまいります。
	9	羽村市が2016年オリンピック反対決議をしていたが、武蔵野でも考えてほしい。2008年に北京でやるのに、またアジアでする必要はなく税金のムダ。意見表明は大切だと思う。	武蔵野市議会においては、第31回オリンピック競技大会の東京招致に関する決議を賛成多数で可決しています。市としましては、これらも踏まえ、市長会とも足並みをそろえてまいりたいと考えていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
国際交流	1	外国人にとっての情報のバリアフリー化 ・多言語による情報提供の充実 ・インターネットによる情報提供の充実 ・転入外国人による生活情報のオリエンテーション体制の充実 ・国際交流協会や留学生との協業の促進 ・都庁・近隣自治体・自治体国際化協会などとの連携強化	転入した外国人を主な対象とする多言語の情報提供については、国際交流協会を通して留学生の協力を得て、今年度中に英語、中国語、韓国語版の生活便利帳を作成します。インターネットによる外国人への情報提供は、現在は英語対訳式の月刊「Musashino Digest」のみですが、今後、豊富な生活情報を市のホームページに多言語で掲載する準備を進めます。都庁、自治体国際化協会などの関係団体とは、これまでも必要な連携が取られていますが、近隣自治体との連携は今後の課題として研究してまいります。

④都市基盤

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
都市景観	1	武蔵野市にふさわしい環境・景観計画の推進 ・街路に市に関連したモニュメント・彫刻・碑などを整備 ・建物や看板、屋外装飾など美観の向上・促進 ・街路樹・生垣・街路灯・案内標識・建物の統一感ある整備を推進	本市には、玉川上水や街路樹、屋敷林など、良好な景観資源があります。景観をさらに魅力的なものに高めるためには、美しい風景を保全するとともに、屋外広告物の規制や、電線類の地下埋設、建築物に対する景観規制・誘導等の取り組みが必要であると認識しています。今後、本市にふさわしい景観のあり方について、市民の皆様と協働で検討することにより、市全域を対象とする目標や基本方針の策定を目指してまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
都市景観	2	三鷹駅北口の美観的問題	三鷹駅北口については、東京都景観条例により、良好な景観づくりを進めるうえで重点的に取り組むべき地域として「玉川上水景観軸」に指定されていることから、一定の建築物の建築する際には東京都に届出が必要となっております。 今後、本市にふさわしい景観のあり方について、市民の皆様と協働で検討することにより、市全域を対象とする目標や基本方針の策定を目指してまいります。
道路	1	歩道、自転車道の拡張整備(商店街周辺も)	歩道の拡張整備については、車道の法定幅員を確保し、その余りを歩道にあてるなど、実際に行っているところもあります。また、自転車道については、新たな用地の確保が必要となり、なかなか難しいかと思いますが、引き続き検討してまいります。
ムーバス	1	北西循環ムーバスの一部を緑町コミセン経由、都営住宅まで延長できるよう検討ください。(都営住宅住人が高齢化して外出が不便なため)	ムーバスの運行ルートについては、バスの交通空白・不便地域において、地域住民や事業所などの聞き取り調査、また、乗車人数予測等も行い、決定しています。ご要望のルートについては、その周辺道路が一般路線バスの運行便数が多いところでもありますので、市内の交通空白・不便地域の解消を図った後の研究課題とさせていただきます。
	2	ムーバスをエコカーに。	ムーバスは運行開始時より低公害化に重点をおき、国の規制に上乘せした対策を講じています。電気自動車やハイブリッド車等の導入については、現在、ムーバスと同型サイズの車両には無いため難しい状況ですが、今後とも、自動車会社とともに研究してまいります。
自転車	1	吉祥寺駅周辺の自転車・駐車罰金付の取締りにしたらどうですか	市では、放置自転車に対し撤去を行い、その移送・保管・返還にかかる手数料の一部を、撤去保管料として3,000円徴収しています。
	2	駐輪場ふやしてほしい。三鷹市みたいな駐輪場作ってください。	駐輪場の増設については、平日頃努力していますが、今後も、地下化を含んだ立体化利用も視野に入れ、研究してまいります。
	3	大型マンションが増え、住民が増え、駅前の年間駐輪場が少なくて大変です。立体駐車場にして下さい。	
	4	自転車につけられる傘立てを市でぜひ売ってほしい。自転車屋さんが少ないため、ぜひ市で。	傘立てを利用した傘さしの運転については、強風・突風時等にバランスを崩すことや、歩行者等との接触などが想定され、市としては、危険であると考えています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	5	自転車は左側通行。これを守れば良い。老人が守らない。特に老人の女性。	ご指摘の自転車利用におけるルールの周知徹底、マナーアップについては、若者・高齢者等すべての世代による市民の検討のもとに、対策を行いたいと考えています。
	6	歩道では歩行者が自転車よりも優先されるルールの徹底について、よい知恵はないでしょうか。	
	7	夜道の無灯自転車に対する規則を作って。	自転車走行による夜間の無灯火については、既に道路交通法による罰則がありますが、今後、当該対策も含めて、自転車利用のルールの周知徹底等、マナーアップを図っていきたいと考えています。
	8	自転車事故防止対策をひとつ提案します。人間の目は後ろについてないので中央通りのような、両側に広い歩道のあるところは、歩道を走る自転車と人は対面交通にしたらどうでしょう。歩いている人がうしろから走ってくる自転車に当たられると、大きな事故になります。自転車が逆方向に歩道を行くときは乗らないで、下りて押しながりにすればいいと思います。	歩道の自転車走行については、道路交通法で車道側を走行しなければならないと規定されていますが、あまり守られていないのが現状です。今後、ご提案の検討も含め、自転車利用のルールの周知徹底等、マナーアップを図っていきたいと考えています。
住宅	1	若年齢層が定住できるための住宅対策案 ①開発業者との協定により、20代～40代の世帯主への特約条項をつける。家賃5年間のスライド制(入居初年度は低家賃でなど) ②教育費の補助(20代から30代向け)転居時にお祝い金など提供する。 ③20代から40代共働き世帯への誘導施策もっと充実を。	①公的賃貸住宅として、低所得者を対象とした都営住宅には、若年ファミリー向けの10年間定期使用住宅があります。また、特定優良賃貸住宅制度に基づく、中堅所得者層向けの都民住宅には、収入に応じたスライド制家賃補助もあります。 ②義務教育課程のお子さんの就学に必要な助成であるか、コストに見合った効果が見込めるか等、課題があると考えています。現在、転入時のお祝い金など教育費を助成する制度はありません。 ③若年齢層の定住には、さまざまな要因があり、社会全体での対応や関連施策による総合的子育て環境の整備が必要です。
	2	都営住宅の建替えの件 こうちゃん公園の並びに7号館が建ちますが、樹木の大きいのがたくさんあります。都では市の木なので切ることはいけません。このままですと3階くらいまでは陽が当たらず困ります。考えてください。	都市の樹木は夏の木陰や良好な緑空間を創出していますが、近隣住民の方々には日照、落ち葉などご協力をいただいております。都営住宅の建替えにあたっては、既存樹木を残すという協定を都と締結しております。ご指摘の場所については、建替え完了後、日かげの状況を見ながら、剪定等により適正な管理をしていきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
住宅	3	公団(パークタウン)の家賃の値下げをお願いします。	公団の家賃は都市再生機構法によって定められています。同法には家賃の減免要件も含まれておりますので、家賃更新時に再生機構とご相談ください。

⑤行・財政

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
市民参加	1	団塊の世代の活用 経験、知識、意欲、アイデアを生かしたい。 ボランティアよりも実行を具体的に考える チームを作り、提言してもらおう活用を。シンク タンクとして。	平成15年に第四期基本構想・長期計画の参考とするためテーマ別市民会議のひとつとして「団塊世代の主張」を立ち上げ、公募による団塊世代の市民に自由な議論をいただき、報告書「団塊力」としてまとめました。この報告書に記載された内容を自ら実現しようと公募メンバーを中心に「DANKAIプロジェクト」が立ち上げられ、団塊世代を対象とした様々なイベントや「団塊サロン」「ボランティア講座」などを実施しており、平成18年度には、市の委託事業として「団塊世代事業」を提案していただく予定をしています。
	2	ジャンル別のタウンミーティングをやってほしい。(例「福祉」「教育」と分けて)	テーマ別タウンミーティングについても、ご要望に応じて検討していきます。また、名称はタウンミーティングではありませんが、外かく環状道路や吉祥寺グランドデザインについて、市民の皆様との意見交換会を開催しています。
	3	タウンミーティングの運営進行について。 参加者からの発言→説明→発言→説明→ 参加者からの意見。	現在は限られた時間に市政全般の課題を取り上げるため、意見交換が十分でないようにお感じになったものと存じます。カードに書かれたすべての意見に対して、報告書で市の考え方を回答していますので、市の回答に対してのご意見をいただくという形で意見のキャッチボールをしていきたいと考えています。
	4	市民に対して・・・ 何でもかんでも「市長に」という考え方、姿勢 をやめるべきです。	市の考える市民参加とは、市民が行政サービスの受け手として、単に意見や要望を述べるだけでなく、まちづくりの担い手として、責任ある役割を果たすことを期待するものです。市民と行政が互いに歩み寄り協働しながら、市民が主役のまちづくりを進めてまいりたいと考えています。
情報公開	1	プライバシー保護の問題が一つのネック になっています。	市政情報の公開は、市政に市民の参加を得るためには、欠かせない重要なことと考えています。今後も個人情報に配慮しつつ、徹底した情報公開・情報提供に努めてまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
情報提供	2	<p>情報発信の方法について、魅力ある情報を提供してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報編集作業への市民の参加 ・民間メディアによるバラエティのある情報発信手段の拡充 ・優れた専門家へのデザイン・制作委託の推進 	<p>市報作りへの市民参加では、コミュニティ欄に掲載している「コミュニティコラム」や緑のまちづくりレポーターによる「緑のかわら版」に直接市民の方に執筆いただくなど、市民参加に努めています。</p> <p>また、地域メディアやマスコミに積極的な情報提供を進めるとともにコミュニティFMやケーブルTVも情報発信に活用しています。</p> <p>季刊誌・子ども広報・ホームページでは、プロポーザル等により選考された専門業者に制作の委託をし、専門知識の活用を図っています。</p>
市政運営	1	市報を見ていると〇〇会議△△会議と市民(委員)会議が多いように感じるが	市は、市民が主役のまちづくりを目指しています。特に、計画等を策定するにあたっては、より多くの市民の皆様の声を聴いてまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。
	2	商業都市でなく、文化都市をめざして欲しい。	「住み続けたいまち」であるためには、文化的な潤いは必須のものであると考えています。しかし、一方では、まちに活気があることも重要な要素であると考えており、バランスの取れたまちづくりを目指してまいります。
	3	<p>市民にわかりやすい長期計画の提示</p> <p>市民の参加意欲を結集し向上させる明確な戦略と指標の提示</p> <p>自治体の計画は相互に類似し、相違の明確性と独自性に欠ける</p>	今年度から2ヵ年かけて第四期長期計画調整計画を策定いたしますが、これまでの策定方式に加えて、公募による市民会議を設置し、市民の皆様同士による議論を行っていただき、それらを計画に反映させてまいります。
効率的な行政運営	1	市役所職員の対応はとても悪い。市民のための職員であること意識してほしい。対応の悪い職員をやめさせろ。	常に「市民のための職員」であることを第一に教育・研修を行っています。対応の悪い点について具体的にご指摘いただければ幸いです。
	2	市職員の市民に対する対応、再教育	
健全な財政運営	1	定率減税が廃止されて住民税が増えてしまっていて困っている。平等に消費税を上げたほうが良い。	個人住民税や消費税は、地方税法や消費税法という法律等に基づくものです。これらの法律は、国会で審議され可決成立を経て公布されているものであり、市としましては、地方税法等に基づいて、適正に事務を進めています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
健全な財政運営	2	バランスシートの勉強会を実施して欲しい。	バランスシートは、よりわかりやすく改善を図っていますが、内容にご不明な点やご意見がありましたら、財政課(Tel60-1803)までご連絡ください。勉強会の実施については、ご要望が多いようでしたら検討してまいります。
市議会	1	市議会の傍聴に時々参ります。その際、傍聴席の椅子が狭くて脚、膝がとても痛い。午前中から拝聴午後でも聞くこと耐えられない。どうか広くして欲しい。傍聴人もあまりいないときが多いので、少し椅子をつぶしてもいいのではないのでしょうか。	現在の傍聴席については、108席を確保しています。席を拡大するとなると大幅な改修工事が必要となります。また予算の問題もあるため、傍聴席の拡大については、議場全体の改修時期に検討いたします。なお、現在、最前列の席については、スペースに多少の余裕があります。

市民と市長のタウンミーティング

第5回

主役は市民です

タウンミーティングは、市民の皆様と市長が車座になって、地域の課題や市政について意見を交換する会です。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

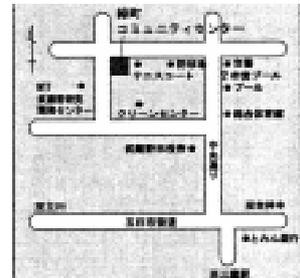
期日 平成18年7月2日(日)

時間 午後1時30分から4時

会場 緑町コミュニティ
センター

武蔵野市緑町3 - 1 - 17

* JR 三鷹駅北口からバス「市営プール前」下車



内 容 会の前半は、「緑町のまちづくり」をテーマに、後半は市政全般について話し合います。

出席者 市民の皆様（どなたでも）、邑上守正市長
緑町コミュニティ協議会、市関連部長

申 込 当日、直接会場へお越しください。

主 催 武蔵野市・緑町コミュニティ協議会（共催）

* お車でのご来場はご遠慮ください。

* タウンミーティングは議会開催月（3，6，9，12月）を除く毎月、年8回、市内各コミュニティセンターで開催する予定です。

問い合わせ◎武蔵野市企画政策室市民活動センター
Tel.0422-60-1829 Fax.0422-51-2000

みんなで作ろう

よいまち緑町

未来はこんな町にしたい・・・夢や宝物をさがそう！
私たちの住む緑町をもっと楽しく住み続けるために
あなたの想いを語り合いましょう。

ごみ・環境問題

- ・ごみの不法投棄をいかになくすか
- ・集合住宅のごみ排出改善を
- ・クリーンセンター建替の展望と余熱利用
- ・緑の環境保全

高齢者問題

- ・ひとり住まいのお年寄りに安心を
- ・お年寄りと子どもの明るい交流を
- ・お年寄りがいつまでも元気で活躍するために

安心・安全まちづくり

- ・子どもたちの生活を見守ろう
- ・都営アパート建替に伴う空き地利用
- ・歩道等をもっと明るく

私たちの緑町コミセン

- ・施設の充実を（エレベーター設置など）
- ・住民の声をもっとまちづくりに反映させよう

当日参加できない方で、市長にご意見・ご要望のある方は、下記の枠内にお書きになり、
緑町コミュニティセンターまでお届けいただくか、ファックスでお送りください。

緑町コミュニティ協議会
TEL & FAX
0422-53-6954

第5回

市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

発行 平成18年8月

武蔵野市企画政策室市民活動センター

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)